

十九日水曜

王陸英念日、一ヶ月の思ふ、余が週日ヲ
日本、目上ヲ、意量ヤシシ、

部下上英、諸書勅語ヲ辨讀シ
多々意ヲ異夫、久持、訓語、葛キヲ

三唱片久、西云ニ響ケト評リシ、
度厚、印時、後ト乾、午、右、左、

別為、天、辰、源、雲、念、蓋、訓、然、後、式、
祝、乾、魚、而、孫、少、化、殿、ヲ、文、一、テ、稱、快、

一、夕、ナリ、言、田、上、三、為、テ、竹、徑、ス、
月、清、シ、
猶、留、リ、
御、流、云、心、勿、レ、控、心、勿、レ、放、下、セ、ヨ、

二十日金曜

内務、研究、中、台、探、求、云、云、其、田、各、其、意、向、
一、統、ナリ、祝、祝、前、長、殿、ニ、招、カ、レ、委員、同、
一、念、食、ナリ、呼、リ、テ、伊、野、道、一、集、可、者、ト、
故、談、

二十一日土曜

由、務、研、究、寄、書、不、ラ、流、シ、
一、夜、遠、山、方、才、下、
中、尾、上、方、務、升、務、加、越、テ、交、ハ、校、信、ヲ、由、ユ、テ、
今、食、ノ、方、所、ト、大、ニ、号、令、調、整、ヲ、ヤル、

二十二日曜

○ 島の屋島の浦に徳兵衛
諸に徳兵衛・大乗・島

三月三日
水曜

船の夜更しに教育員、軍凡比、果爾
自、兼中、職責、自ら、嘆息、可
能、創、意、其、度、告、別、式、島、民、表、形
復、島、民、代、表、の、形、を、今、食、後、互、の
胸、襟、を、開、く、

三月三日
木曜

新着夜更しに屋敷津守、長二村、
軍凡比、果、信、の、因、の、科、
内務省記、の、始、

三月三日
金曜

午前、西、兵、隊、談、論、後、午、清、能、平、村、上、
平、村、中、候、橋、本、創、始、者、痛、ま、う
侍、也、自、ら、其、意、を、示、す、に、是、感、す、
折、り、中、尉、に、依、頼、す、諸、君、切、同、く、箱、
供、り、島、西、兵、大、隊、を、り、う、語、り、

三月三日
土曜

西、澤、隊、員、村、伊、長、以、下、二、名、急、死、者、
其、志、自、ら、
陛下、股、肱、を、遂、為、に、死、せ、ら、
恐、懼、に、堪、深、く、其、責、を、思、う、
西、田、大、尉、四、九、日、志、墓、標、建、立、

夜南砲台去撃り記念日ニ招カレ
御馳走ニナル

三十日 曜

部隊長教習 午後西出砲台
参列式参列 内務研文

三十日 曜

清陣地機銃要員教育終了
ニ就キ本陣射撃力ニ認め未ダ

至ラセシト下至ヤアリ

西大尉 信念ニ却リ創ヘラレ

三十日 曜

小隊長軍力術訓練 昼食后直観

総計一カ行フ 本多隊ニ移シ奉カリ

半日風強ク 暴風警報出シ

信念ニ生キス 言行一致タルニシ

一日 水曜

暴風雨激シテ狂フ

海軍(本多隊奉攻ニ関シ)紀明ニ行ク

内務研究

二日 木曜

首領(本多隊)由緒教育員等 後部隊

長隊迄ニ奉ヒシ能ク為実ニ世間詰事

七日

火曜
昨日残り、剣術並、自治地指示、遊技会
一年次自振り、常駐、試合、見、愉快
極り、夕刻、寛井、軍曹、告別式、
参列、彼、死、後、然、事、ハ、カ、カ、
聖、徳、中、前、ヘ、白、ク、
能、握、リ、能、放、シ、故、事、を、軌、外、
所、皇、軍、統、率、本、道、了、

八日 水曜

昨日、大塚、後、多、久、各、海、長、以下、並、
一、年、罪、後、多、後、洋、マ、シ、意、ナ、
本、島、陣、地、見、島、山、島、村、見、
在、任、官、道、後、多、久、本、道、統、率、
会、食、
島、民、村、シ、詔、書、奉、讀、一、訓、
不、理、

遷、宗、一、奉、解、決、一、年、后、有、島、内、務、
後、育、リ、見、一、時、ハ、西、事、カ、尉、自、治、
ニ、加、シ、建、事、振、リ、キ、キ、
推、書、籍、讀、

陸鳴池の畔に 日生汗ゆる。
 深更日雨敷、殺鼠の今迄嬌の寧に
 此後之若くタルモノヲ覺ス、肉束総軍
 十年養之得タル所ヲ火ニ焼埋シテ健斗
 也。此の事ヲ所ル。ソレニシテモ吾等武
 運分、斯ク拙キナ。
 真ニ日本村世界 神州、神乃、及テ全世
 界人類ノ靡カシムル様、三千年系養
 来リ魂力顯現ノ秋ニ至リ。
 十日 金曜
 日、此ノ関係ヲ回顧シ、幹ノ教育資料
 書ク。若松長ヲ果テテ兵ノ指導シ

能ク示ス。祝儀主信ヲ果テ、西京、松ノ
 道級ヲ殺シ、食年ヲ并ニス。
 十日 土曜
 若松公食、後各隊長ニ指示スル所アリ
 夕刻特別捕之下、官舎合教、有ニ此キ
 訓示並訓話、祝由系分面自カラス
 早ク床ニ就ル。
 十日 日曜
 財部總務会、去牛、不低成、早シテ下
 ヲ責ム、カカ余自ラヲ責ムベキカ、既ニ
 改回ニ直シ注意行カス。正ニ系ノ、
 既重ヲ向ニシ、夕刻送書ヲ祝部隊長ニ

天ノ御宇トモシクハ只此處ニ(キヲ)置キテ爲ス(キヲ)
ヲ爲スノミ

十五日 水登

午前訓話 午後内務教育

戦事終結ニ関シ兎角ノ尊リヲ考テ
トモシクモナクハ只新念アルニ

十六日 木登

部隊本部集合

晴天 壁屋集 戦半復分ヲモ云ハシ

戦事終結ニ因ル大詔發表セラル

我等只上帝ノ示ス所ニ基テ半復生

日本ヲ新トナシテ誓フヲ復興ノ途ヲ

血

血

御宇ノは只

永変ニ志レ

志ニ志レ

有難ク

御宇

本皇

兵

意志

皇爲道セシ
皇皇臣民ニテ戰陣ニ死シ……五體爲裂ケ
今後吾志ニ及ズキ苦難ニ固ヨリテ守テ非ズ
我臣民長臣ニ見エテ之ヲ知シ然レモ朕ニ時運
無ク是處堪ヘ難キヲ堪ヘ忍ビ難キヲ忍ビ以テ
萬世ノ爲メ太平ヲ期カント欲ス朕ニ茲ニ國
體ヲ護持シ得テ忠良ナル汝臣民ノ系ニ
傳傳シテ常ニ汝臣民ト守ニ在リ若シ……
御宇ニ志レ……
皇皇臣民ニテ戰陣ニ死シ……
今後吾志ニ及ズキ苦難ニ固ヨリテ守テ非ズ
我臣民長臣ニ見エテ之ヲ知シ然レモ朕ニ時運
無ク是處堪ヘ難キヲ堪ヘ忍ビ難キヲ忍ビ以テ
萬世ノ爲メ太平ヲ期カント欲ス朕ニ茲ニ國
體ヲ護持シ得テ忠良ナル汝臣民ノ系ニ
傳傳シテ常ニ汝臣民ト守ニ在リ若シ……
御宇ニ志レ……

山嶽ニカキテ
御宇ニ志レ

皇平

謹言

大詔拜又 恐懼之至

臣 壽滿次

粉骨碎身能ク堪ヘ能ク忍ビ
誓ラ復興日本、中核トナリ
皇運ヲ無窮ニ扶翼ルニ奉ニラ
斯ス

昭和十年八月十日

陸軍少佐 後右衛門 原 壽滿次

十日 全覽

皇軍少佐原力花蔵、午前下士官八ノ
訓諭、又島民訓示、午後内務省
研究、夜事司多田等ト語り更ニ
曾根ト語り

十一日 土曜

勸語傳達、午後前中幹部隊長殿
訓諭、午後總大尉等ト談話、
右塔加ハリ、深更迄語り

十二日 日曜

午前中、送給室等ヲ見ル、午後オシ
役所迄所長ヲ訪ヒ、トテ果其ノ散歩

辛酉月曜

訓詁・由務教三日午後設法は夜来り
大・語ル・更ニ見・奥山雨大討加リテ
論ツルヤテ送ニ送更ニ送至ル

壬戌土曜

雨・川アリ・若平正史ノ作業ヲ

償ク・其他物異本取ヤシ

水曜・近村ヨリ玉置谷公成ヲ就護

東宮御侍地止現ニ隠リ

所屬收指・説次第ニ明トナリ一方希美ソ

キ・蘭信又思浮クヤル

社方崎ヨリ馬醫果来リ候

壬子木曜

西宮道現・隠リ平合甚由ク候事

寺・語ル・存遠光村

壬寅金曜

船傳地親桑ヲ子リ午後御所長殿宅

ニ招カレ石浜在ト昔ニ馳走ニナル

別記ナシ

壬辰土曜

舟師任務ヲ解カレ一年有年歳候

際ク部下相告・若昔今更ノ如ク

感誠ナ

金崎大会・一息又ク・皆候

